

## 研究成果の説明会・意見交換会の開催

得られた本研究成果について、実験の協力いただいた諸団体や同様の活動を実施している組織に対して研究成果の説明をするとともに、その活用策についての意見交換を行った。

### (1) 愛媛大学での成果に関する意見交換会

月日：2025年12月16日

開催場所：愛媛大学農学部（愛媛県松山市樽味3丁目5-7）

説明対象：農学部学生

説明内容：

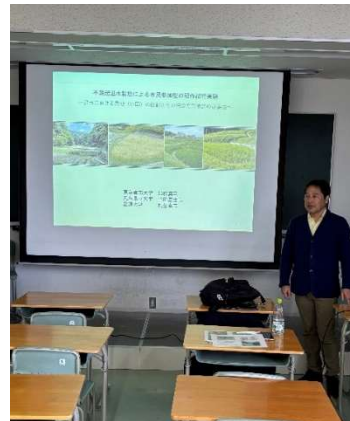
愛媛大農学部内講義室にて、科研費の研究代表者と研究分担者それぞれでまとめた成果をお互い発表して意見交換を行った。またこの意見交換の場には留学生も含めた学生の参加も得られた。

普段学生が抱えているテーマとは異なる内容だったので、あまり質問は出なかったが、農業に対して市民参画という新しい視点は新鮮に映ったようだった。

意見交換の様子：



市民水田にまつわる背景等についての説明



実験結果概要の説明



⇨講義室内の様子

### (2) あいな里山公園において公園管理者に対する成果説明会の開催

月日：2026年1月30日

開催場所：あいな里山公園（神戸市北区山田町藍那字田代）

説明対象：あいな里山公園管理センター職員や公園内での諸活動団体のメンバー

説明内容：

三か年に及ぶ科研費研究「都市近郊水田の市民参画による保全活用のための不耕起湛水栽培法の展開方策」の研究成果がまとまったので、フィールドを提供している国営明石海峡公園事務所と公園を管理しているセンターの職員等に対して、成果の説明と意見交換を行った。

**意見交換の様子：**

特に雑草取りについて多くの意見交換がなされた。稲作において、雑草取りの頻度は毎月 1 回は必要であるという意見もあり、雑草抑制策が大きな課題であることが改めて確認できた。



会場の様子（1）



会場の様子（2）

**（3）名古屋市市民水田担当課への成果説明会**

月日：2026年2月20日

開催場所：名古屋市役所西庁舎（名古屋市中区三の丸三丁目1番1号）

説明対象：名古屋市役所緑政土木局農政部都市農業課職員

説明内容：

研究成果がまとまったので、先駆的取り組みである名古屋市市民水田を管理している名古屋市職員に対して、成果の説明と意見交換を行った。

この意見交換の中で、名古屋市市民水田の制度設立の経緯や、水田ならではの課題（一般水田隣接地での水管理作業等）を説明された。また、名古屋市市民水田での、各種運営管理方法（除草や成否の方法等）についての説明も受けることができた。

**意見交換の様子：**



名古屋市役所内での会議の様子



名古屋市市民水田

**（4）吉野ヶ里歴史公園事務所における成果説明会**

月日：2026年2月9日

開催場所：吉野ヶ里公園内の管理事務所（佐賀県神埼郡吉野ヶ里町田手 1843）

説明対象：吉野ヶ里公園の国関係の公園管理者

### 説明内容：

弥生時代の稲作は石包丁で穂先だけを刈るとされるが、この方法だと稲ワラはそのまま放置されることになる。イネは暖地では宿根草の性質を有するので、弥生時代には、毎年稲が芽を出して、そのまま実をつけて、それを単に収穫のみを行うという形態だった可能性がある。その前提に立って、本研究で確認できた粗放型稲作法の実践を提案するとともに意見交換を行った。

我が国で稲が多年草的に生育するのか未確認のため、現在実施中のバケツ水田での稲作連作実験の推移を見守る必要があるという認識が共有された。

### 意見交換の様子：



打合せの様子（公園事務所内の会議室内で）

吉野ヶ里公園内のうち、県営区域側に弥生の水田（下記写真）が整備されている。水田の1区画は5 m四方程度に区切られ、畔の形状は時代考証に基づいて設計されている。維持管理は公園管理者が行うが、田植えや稲刈りは、近在の学校の生徒が授業の一環として実施している。

田起こしを行い、代掻きも行うので、雑草取りは年2回ほどで済んでいるとのことだった。



公園内に計画的に設置された弥生の水田  
（奥に環濠集落の屋根が見える）



弥生の水田の近景